



写真は浮田会場の様子



発行
 浮田地区コミュニティ会議
 電話&FAX
 0198-42-1681

タイトル画説明

ふと気づくと大きくなってしまっているヨウシュヤマゴボウ、光沢のある美しい実。羊のために拾う桑の落葉は美味しそうな色の果実。サンゴのようなミズキの果序の枝。
 絵・文(実)

ホツとする 歌声サロン 中内・浮田・毒沢

今回は中内公民館で11月6日に行われた歌声サロンの様子をレポートします。17名の参加で、アコーディオン(肥田葉子さん)、リード(川上芳子さん)、アシスタント(達川南さん)を中心に、発声練習の後、リクエストを含め、20曲を歌いあげました。

ドレミの歌を初めに、里の秋、旅愁、秋桜、青い山脈、学生時代、今日の日はさようなら等、歌い易い曲が殆どで、2回目となる参加者が多い理由が分かりました。

大声で歌っていたら、あつという間に時間となっていました。次回の企画にも期待です。
 (辰)

星空観察会

9月15日、浮田振興センターで「中秋の名月」をテーマにした星空観察会が開催されました。参加者は9名で、星空ナビゲーターのホシミネスカのお二人を講師に迎えました。



残念ながら当日は曇り空で、3台の望遠鏡を使った観察は出来ませんでした。参加者は「月の模様」をテーマにした工作を楽しみました。ハサミで月の模様を切り取り、「何に見えるかな?」と想像を膨らませました。日本では「うさぎ」に例え

ることが多いですが、世界各地では「カニ」や「ライオン」に例えることもあるそうです。

また講師より、NASAの宇宙船アポロ13号の「ワツペン」や当時の新聞記事「ニューヨークタイムズ」など、貴重な資料も紹介して頂きました。

曇り空にもかかわらず、参加者は楽しい時間を過ごし、月や宇宙についての興味を深めることが出来ました。次回の星空観察会も楽しみにしています。
 (郁)



「安倍貞任物語」を追う

10月18日開催された浮田塾歴史講座「安倍貞任(あべのさだとう) 物語を追う」に参加しました。

あいにくの小雨模様の日でしたが、参加者11名で町内外の史跡を訪ねました。案内人は東和の歴史と文化財を学ぶ会会長の平野保さん(毒沢)です。



安倍貞任と平安時代後期に北上盆地を中心に東北地方で起こった戦い(前九年の役)は運命的なものかもしれません。

史実では、東北を代表する武将の一人とされておられ、父の跡を継いで朝廷側との戦いを続けました。

北東北を実際に統治していたのは、北上川流域で豪族であった安倍氏です。当時、朝廷が蝦夷征伐に成功するも完全に制圧までには至らず、朝廷の支配下とは名ばかりのようです。

安倍氏は祖父忠良の代から、朝廷に反抗せず年貢を納めていましたが、父頼時の代になると年貢を怠るようになります。次第に朝廷とは不仲となっていくますが、決定的な出来事が起こります。

貞任は、国司(知事みたいな者)の部下である藤原光貞の妹へ求婚します。しかし、貞任が蝦夷の血を引くとして光貞により拒絶されます。これに腹を立てた貞任は、光貞を闇討ちにするという事件を起こします。

貞任を処罰しようとした国府と安倍氏の仲は決裂して戦へと進みます。

地の利のある安倍氏軍の優位は、朝廷が出羽国(秋田)清原氏の援軍を要請したことで劣勢となり敗北。安倍氏は敗走を重ね、滅亡

への道を辿ることになります。す。

「戦いの裏に女の影あり」は常なのか・・・

なお、自立的な支配をしていた胆沢、江刺、和賀、稗貫、志和、岩手の六郡を超え、南の宮城県に侵出したことが発端ともいわれています。



今回訪れた場所は、大沢瀧神社(砂子)、丹内山神社(谷内)、砥森神社、貞任隠れ岩(田瀬)、鏑八幡神社(土沢)、安倍屋敷跡(遠野市土淵町)などです。(浩)

写経・

写仏教室

浮田コミュニティ会議、生涯学習の写経・写仏教室が8月21日、28日、9月4日の三回、研修室で行われました。講師は伊藤恵美さん(中内常泉寺)。

経典を書写する、仏さまを写仏、色づけするとまた違って見え、楽しそうな会話も聞こえました。作品は額に入れ出来上がり!心の坐禅でした。(二三)



GG大会に 新星、現る

9月7日、浮田の丘で行われた秋季グラウンドゴルフは、体協浮田支部長の千葉邦明さん(中内)の提案で「ラジオ体操第一」を行い、体をほぐした参加者26名がプレーを楽しみました。

今回、最年少プレーヤーに贈られる「新星賞」は小菅和典さん(上浮田)が初めて受賞し、ホールインワンも出しました。

また、優勝した八重樫貞一さん(中内)はホールインワンを3回も出し、準優勝の千葉テル子さん(下浮田)は全24ホール3打以下達成まであともう1打という、素晴らしい成績でした。(多)



優勝した八重樫貞一さん

ホット
ニュース

誕生
おめでとう



古松(ふるまつ)農園は、自然のなかでその恵みを生かし循環していく「里山での暮らし」を実現すべく石持に移住された双子の兄弟、信彬さんと義彬さん優子さん夫妻が営まれている。

農園に今年の2月3日、新しい家族が誕生。9ヶ月になる太陽くんは豊かな表情でまだ言葉にはならないけれどお話ししてくれる。父の義彬さんは家の中が明るくなったと話し、叔父で太陽くんの友達と話す信彬さんは今まで農作業を一

気にやり続けていたのが、ひと息入れる時間のゆとりができたと言い、母の優子さんは食の選び方、時間の使い方も太陽くんを中心に回っていると話される。

義彬さんの膝の上でエネルギーッシュにジャンプを続ける太陽くんは満面の笑み。古松農園を明るく照らす太陽そのもの。エネルギーと笑顔が私にまで伝播し、里山暮らしが豊かに育まれていくことが感じられた時間でした。(実)

「レクリエーション吹き矢」
練習会と競技大会

10月9、16日の2週に渡り、レクリエーション吹き矢の練習会と競技大会が行われました。

講師に東和町体育協会の菊池進氏を迎え、9日の練習会では基本的なルールや吹き方の説明を受けたのち、それぞれ実践に入りました。やってみると息を吹く強さであったり、距離感など、意外に難しいかな?。そして16日の大会日。前の成果を発揮できるか、



チーム分けをしてスタートしました。

うまくいった人、ダメだった人と様々でしたが、気軽に出来るレクリエーションとして良いものと感じました。

なお、上位者は次のとおりです。

- 1位 佐藤清子(石持)
 - 2位 小田島賢志(上浮田)
 - 3位 高橋愛子(上浮田)
- (賢)

リレー
エッセー

酒呑みの
独り言

私の住む地域には、約40年前から半強制的?な毎月の交流会(酒飲み)の場が脈々と続いている。三十代の頃は面倒な場。五十代になるとお酒の飲み方を覚え、先輩の話を聞く余裕も出来てきた。六十代になり多少面倒ではあるが定期的な集まりが待遠しくなり、良い交流の場と考える事ができる様になった。

盃を酌み交わし、場の話題は何でもよい。農作業の事、互いの健康の事、そして地域の将来の事等々。時には意見が分かれ距離をとる事もあるが、互いに励まし、認め合う。そんな当たり前の関係がそこにはある。残念な事が一つ。六十代の私は一番の若造であり、地域の後継者不足、高齢化を身に染みて感じる。今月の開催日は...
(上浮田 多田 正和)

ゆるゆると

カントリーヘッジ
(羊の生垣)

羊のくるるんと草地に出て桑の落葉を拾っていた朝、くるるんが頭を低くして近づいてきた。頭突きは体勢に、くるるんとの間に落葉拾いのバケツを入れ、真正面からの頭突きを避けた。羊同士の頭突きは確認行動と私は思っている。同等のパワーがあることの確認。仲間であることの確認:くるるんは私を仲間と思っているのかな...冬に向かうこの時期、私は心身とも不安定になる。くるるんも? 次に草地で私に向かってきた時、くるるんの首に腕を回し動けないくらいぎゅっと抱きしめ「大好き!」と。しばらくそのまま頭を撫で話していたら、「もういい」という風に腕から抜け出て、離れて行った。いまは朝の飼料を食べたあと、同じ目線に座っている私に近寄ってくる。頭をブラッシングする感じに指で掻きながら話す時間をもつ。気が済むと、ついーつと草地に出かけて行ってしまふ。毎朝の羊仲間活動。
(山本 実紀)

浮田地区市政懇談会開催される

11月8日浮田振興センターを会場に、浮田地区市政懇談会が開催されました。花巻市からは八重樫副市長をはじめ12名が出席されました。



会場には30名が詰め掛け、色々な意見交換となりました。今回は空き家対策・不在地主農地、コミュニティ会議の今後がテーマとして揚

げられ、千葉和弘副会長が中内地区の空家の現状から対応策を求めました。空き家バンクの利用などのほか、所有者への管理義務の遂行を促しているとの説明がありました。

また農地に関しては、中山間や多面的制度を活用した地域の共同活動が重要であるとのことでした。

空き家にしても農地にしても、所有者との日頃からのコミュニケーションが大切だと改めて感じました。コミュニティ会議の今後

については、小菅茂吉副会長がお聞きしました。

市からは、地域の人口が減少し続ける今日ですが、地域の課題は地域で対応していただきたいとのこと、コミュニティ会議の設置は継続するとのことでした。コミュニティ会議に対する交付金の維持・増額を求める意見がありました。

(浩)

事務局だより「遊局だより」

○旧保育園の取り壊しが11月から本格的に始まりました。昭和42年7月から旧浮田小学校舎の一角で、浮田へき地保育所として始まりました。取り壊される園舎は昭和51年11月に建てられてから、令和2年3月の閉園まで44年間活用されていた建物です。この場所も年度内には更地になる予定です。同時に園庭内の遊具も撤去します。今後は広くなったグラウンドを活かして行きたいものです。



昭和48年頃の保育所運動会

○12月1日から今年も「輝け！オラホの公民館大賞」と銘打った各公民館のイルミネーションによる飾り付けが始まります。昨年に引き続き今年もまた、皆さんの目を楽しませてくれると思います。ぜひ7公民館の飾り付けをご覧ください。なお、審査会は12月11日に結いの里便り編集委員会が行います。



○竹灯りづくり教室を開催します。チラシでもお知らせしましたが、12月14日(土)午前9時より浮田振興センターに於いて竹灯りを作ってみませんか？

皆さん奮ってご参加ください。(輝)

編集後記

猛暑の夏も去り、季節は移り変わって寒い冬に。さて、今年も「結いの里便り」をご愛読いただきありがとうございました。地域のみなさん、行事などに密着して来ましたが、快く取材に応じていただいた皆様のおかげと思っております。まもなく新しい年がやって来ますが、何か目標を立て、達成に向けて頑張ってみるのはいかがでしょうか。という訳で、一年間ありがとうございました。良い年をお迎え下さい。(美)

編集委員 長

千田 浩志 (毒沢)

編集委員 長

山本 実紀 (毒沢)

編集委員

山口 友恵 (宮田)

千葉 三恵 (中内)

多田 辰雄 (上浮田)

小田島賢志 (下浮田)

渡辺 郁美 (中内)

竹田美由紀 (宮田)

題字

千葉 稔 (下浮田)

事務局

藤井 輝雄 (中内)

小田島多賀子 (下浮田)